

第65回教育研究評議会議事概要

日時 平成21年12月18日（金）13時30分～15時20分
場所 事務局大会議室
出席者 中村（議長）、樫見、櫻井、片桐、柴田、生田、中島、矢倉、五味、鹿島、中尾、久保、鈴木、上田、森本、川上、奥野、山本、中西、天野、大久保、中沼、井上、福森、尾島、向田、笠井、青木、青野
欠席者 長野、金子、向、富田
陪席者 高尾、田中、古川、畑中、中元、山崎、中村、伍賀、村本、横山、谷内江、中村

1 前回議事確認

第64回教育研究評議会（11月20日開催）

2 協議

(1) 平成22年度推薦入試及び帰国子女入試の合格者について

教育担当理事から、[資料2]に基づき、平成22年度推薦入試及び帰国子女入試の合格者について説明があり、了承された。

(2) 金沢大学学生・留学生寄宿舍整備事業の実施について

附属病院担当理事から、[資料3]に基づき、金沢大学学生・留学生寄宿舍整備事業について概略説明があった後、施設管理部長から整備スキーム、今後の日程等について追加説明が行われた。

加えて、議長から経営協議会における審議状況等の説明が行われた後、事業スキームとしてはA方式を原則とし、日程については原案のとおり進めたいとの提案があり、承認された。

3 報告(1)

(1) 人事について

議長から、[資料4]に基づき報告があった。

(2) 平成22年度大学入試センター試験について

教育担当理事から、[資料5]に基づき、平成22年度大学入試センター試験における試験場別志願者数について報告があった。なお、追試における受験許可者数については、追って連絡する旨併せて説明があった。

(3) 平成24年度大学入試センター試験「地理歴史・公民」について

教育担当理事から、[資料6]に基づき、平成24年度の大学入試センター試験における「地理歴史・公民」の取扱いについて報告があった。なお、報告の際に平成25年度の対応について質問があった。

(4) 平成22年3月卒業予定者の就職内定状況について

教育企画会議就職支援部会長から、[資料7]に基づき、本学及び全国の就職内定状況について報告があった。

(5) 労働基準監督署の是正勧告による時間外労働割増賃金の遡及について

総務・人事担当理事から、[資料8]に基づき、労働基準監督署の是正勧告による時間外労働割増賃金の遡及について、今までの経緯、本学の方針等について報

告が行われた。

(6) 人事院勧告の対応について

総務・人事担当理事から、[資料9]に基づき、人事院勧告の内容、本学の対応、人件費の活用に係る基本方針等について報告が行われた。なお、報告の際に当該人件費の使途、基本方針の適用時期等について質問があった。

(7) 国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正について

評価室長から、[資料10]に基づき、第2期国立大学法人等の中期目標及び中期計画の素案の修正について形式的な不備及び情報セキュリティに関する記述に関する修正、「各法人の目指す方向性が明らかになるよう一層の個性化を明確となるよう」検討を求められていることが報告された。

(8) 平成20事業年度決算の分析について

財務担当副学長から、[資料11]に基づき、平成20事業年度決算の分析(財務れば一と)について本年度の特徴的な事項、昨年度との相違点等を中心に報告が行われた。

(9) ベトナム政府(VIED)及びベトナムの大学・研究機関との大学間交流協定及び学生交流に関する覚書の締結について

議長から、[資料12]に基づき、ベトナム政府(VIED)及びベトナムの大学・研究機関との大学間交流協定及び学生交流に関する覚書の締結に関する概要の報告が行われた後、研究国際部長から補足説明があった。

(10) 北陸地区国立大学学術研究連携事業に関する協定の締結について

議長から、[資料13]に基づき、北陸地区国立大学学術研究連携事業に関する協定の締結に関する概要の報告が行われた後、研究国際部長から補足説明があった。なお、報告の際に北陸先端科学技術大学院大学との研究連携事業とこの北陸地区国立大学学術研究連携事業との差異について質問があった。

(11) 地域産学官共同研究拠点整備事業の採択結果について

議長から、[資料14]に基づき、地域産学官共同研究拠点整備事業の採択結果について報告があった。

(12) 行政刷新会議による「事業仕分け」作業に対する共同声明について

議長から、[資料15]に基づき、行政刷新会議による「事業仕分け」作業、本学への影響等について報告が行われた後、財務部財務企画課長から追加説明が行われた。

(13) 国立大学協会臨時総会等について

議長から、[資料16]に基づき、12月11日に開催された国立大学協会臨時総会の状況について報告があった。

(14) 第2回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウムについて

情報担当理事から、[資料17]に基づき、平成22年2月6日に学術総合センターで開催される「第2回金沢大学未来開拓研究公開シンポジウム」の概要について報告があり、各部局に対し協力依頼がなされた。その際に本シンポジウムを創基150年記念「講演会・シンポジウム」シリーズに位置づけるよう依頼があり、また、関連して創基150年のシンボルマークのシールが配付された。

4 報 告 (2)

(1) 金沢大学リスクマネジメント指針 (案) について

情報担当理事から、[資料18]に基づき、金沢大学リスクマネジメント指針(案)の概略説明があった後、危機管理担当学長補佐から本指針におけるリスクの考え方、危機管理体制、今後の日程等について追加説明が行われた。

その後、情報担当理事から、各部局で検討の上、意見があれば12月中に総務部総務課に提出していただき、当該意見を反映させた上で次回の本会議で審議を行うこと、本指針(案)はいわば初稿であり、常に見直しを行うべきものであること、各部局において個別マニュアルの整備に着手いただきたいとの依頼があった。なお、その際にハンデキャップを持つ者に対する配慮を記載すべきとの意見があった。

4 その他

(1) 最先端研究開発支援プログラムについて

議長から、[資料19]に基づき、若手・女性研究者を対象とした最先端研究開発支援プログラムについて説明があった。

(2) 国際ハンセン病政策シンポジウムの開催について

社会環境科学研究科長から、平成22年1月23日に開催される国際ハンセン病政策シンポジウムについて説明があった。

(3) 自然科学1号館における火災について

自然システム学類長から、6月1日に発生した火災による被害が復旧したこと、今後の防火対策の徹底について発言があった

○第66回教育研究評議会 1月15日(金) 13時30分から